

令和八年の新春を迎え、伝統ある下川消防出初式が挙行されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日ここに、関係各位のご臨席のもと、盛大に出初式が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より地域の安心・安全の確保にご尽力いただいております、大西消防団長をはじめ、団員の皆様に対し、改めて深甚なる敬意と感謝の意を表します。

併せて、本日、表彰の栄に輝かれた皆様におかれましては、永年にわたる献身的なご尽力とご功績に対し、謹んでお祝い申し上げます。今後とも、変わらぬ熱意と団結力をもって、地域防災の要として、一層ご活躍されますことを期待しております。また、皆様を支えてこられたご家族の皆様にも、心より感謝とお祝いを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で集中豪雨や台風などの自然災害による人的被害や住宅被害が発生し、甚大な被害が生じました。加えて、2月には岩手県大船渡市で、平成以降、最大規模の林野火災が発生し、11月には大分県佐賀関において大規模な火災が発生、消火活動に困難を極め、鎮火まで長時間を要するものとなりました。12月には青森県東方沖を震源とするM7・5を記録する地震が発生し、「後発地震注意情報」が初めて発表されるなど、災害の多発と多様化が顕著となった一年でありました。

こうした大規模災害への備えとして、災害対応能力の向上を図っていくことはもちろん、災害現場において、職団員から死傷者を発生することは絶対にあってはなりませんので、組織を挙げて安全管理対策の、さらなる推進に取り組んで参ります。

被災されたすべての方々に、心よりお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

幸いにも、当組合管内では、大規模な災害は発生しませんでした。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。その際、常備消防力のみでは対応に限界があり、動員力と即応性に優れた消防団の存在は、極めて重要であります。消防団の皆様には、地域住民の生命と財産を守るという崇高な使命のもと、今後とも地域防災力の中核としてご尽力いただきたく存じます。

組合といたしましても、「使命・信頼・協調・協力・誠実」の理念のもと、組織一丸となって、「住民の皆さんが安心して暮らせる、真に強い、災害に強い、安全なまちづくり」を目指してまいります。

結びに、伝統ある下川消防団のさらなるご発展と、ご列席の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、訓示といたします。

令和8年1月11日

上川北部消防事務組合 消防長 遠藤豊明